

第9回 伊那市入札等検討委員会 会議概要

開催日時及び場所		平成23年11月15日(火) 午後1時30分より3時20分まで 市役所 庁議室		
出席委員		委員長	佐々木 隆	(大学教授)
		副委員長	平島 史彦	(弁護士)
		委員	飯島 匡和	(税理士)
		委員	酒井 庄平	(公認会計士)
審査対象期間		平成23年6月1日～平成23年9月30日		
抽出案件	工 事	一般競争入札	4 件	(備考)
		指名競争入札	0 件	
		随意契約	0 件	
	委託業務	一般競争入札	3 件	
		指名競争入札	0 件	
		随意契約	0 件	
	合 計		7 件	
意 見 ・ 質 問		回 答		
会議の概要	○ 議事 (1)審 議 ア 建設工事等に係る入札及び契約状況の報告 事務局より、審査対象期間内の入札及び契約状況について報告した。 (資料参照) イ 抽出事案の審議 7件の抽出事案について、事務局より説明し、委員により審議された。 (資料参照) ウ その他 最低制限価格の算定方法改定について 事務局より、最低制限価格の算定方法を改定した旨説明した。 実施結果については、次回の委員会で報告をする。 議事の終了にあたり、議長が委員に対し、市長に対する意見具申の有無について意見を求め、無いことを確認した。			
	○ その他 無し			

	意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事 (1)審議 ア 建設工事等に係る入札及び契約状況の報告	
	○ コンサル業務について、ここにきて耐震診断業務の入札案件が多く見られるが、東日本大震災の影響を受けてのものか。	○ あらかじめ計画があったもので、震災の影響ではない。
	議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 1 「平成23年度 高遠温泉スタンド滅菌機設置工事」	
	○ 過去10年間に同種業務の実績を求めているが、過去において伊那市が落札業者に同種業務を発注した実績はあるのか。 ○ 落札率が極めて高く、応札者が1者のみということであるが、競争性はあったのか。 ○ 同種業務実績を求めれば業者が特定される場合もある。実績の条件を付けずに新規参入を認めて競争性を確保した方がよいのではないか。 ○ 滅菌装置を今までに伊那市で導入したことはあるか。 ○ 高遠以外の温泉施設も今後必要になるのか。 ○ 事前にある程度の応札可能な業者数を調べる必要があるのではないか。	○ 伊那市が落札者に同種業務を発注した実績はない。落札者の同種業務実績は、松本市(旧波田町)の温泉施設のものであった。 ○ 地域要件を長野県内に広げて一般競争入札を行った。登録業者数はかなりある。同種業務実績のある機器代理店が少なかった結果ではないかと推測される。 ○ このような特殊工事はめったにない。今回の結果を踏まえて資格要件等を検討する。 ○ 温泉施設では初めてである。装置もいろいろあるが、今回はランニングコストの一番掛からない超音波滅菌装置とした。 ○ 今後必要になることも予想される。 ○ 特殊な工事については、事前にある程度調べたうえで、競争性が保たれるよう地域要件等を考えるなどの検討をする。
	議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 2 「防災行政無線デジタル化整備工事」	
	○ 工事概要が改修中心の内容であるが、今までの本体工事等は、今回の落札業者が請負ってきたものか。 ○ 他メーカーでは参入できないか。 ○ 随意契約は考えなかったのか。 ○ 今後の改修予定はどうなっているのか。	○ 最初の親局など本体工事は、同じメーカー系列の別会社が請負っている。その後改修工事を2度発注しているが、1度目は当初工事を請負った業者が受注し、2度目の改修工事は今回の落札業者が請負っている。 ○ 他メーカーからも問い合わせはあったが、既設機器の取替え等別途膨大な費用を要するため、一般的に他メーカーが価格競争するのは難しいと思われる。全く参入できないということでもない。 ○ 金額が大変大きいので、地域要件をなくして一般競争入札とした。全国規模となれば同系列の会社も参加資格があり、競争性が図られると判断した。落札率が割りと低かった結果を見れば、一般競争入札として行った効果だと考える。 ○ 高遠町エリアの改修工事を平成25・26年度に予定している。

○ 工事完了後の保守契約はどうか。 ○ 工事費は少なくとも保守料として利益を回収する業者もある。当初から保守料を含めて業者選定をする必要があるのではないかな。 ○ 保守契約は随意契約か。	○ 現在、改修済のものもあるが保守契約はしていない。保守については、伊那市全体の整備が終わったところで検討する予定でいる。 ○ システム機器の導入などは、保守料を含めた入札形態もとっている。プロポーザル方式等を含めて検討していきたい。 ○ 施工業者との随意契約になるかと思われる。その際は、できるだけ少ない金額となるように交渉したい。
議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 3 「平成22年度 美篤小学校 耐震補強・トイレ改修工事」	
○ 耐震補強工事とトイレ改修工事を一緒に発注した理由は。別々の工事に思える。 ○ 今までも学校内の工事については、一つにまとめて発注していたのか。 ○ 予定価格に対して、応札者の入札額に差がでているのはなぜか。	○ 同じ学校敷地内の単年度工事のため、生徒の安全性等や工程の調整などを考慮し、同一業者が行うことが望ましいと判断した。 ○ そのとおりです。 ○ 建築工事の積算は、公表されている単価以外に業者見積りを参考としているものが多いので、積算金額に差がしやすい傾向にある。
議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 4 「平成23年度 分杭峠トイレ建設工事」	
○ 応札のあった業者は、地元業者か。 ○ 本店の定義は何か。	長谷地域の業者ではないが、市内の本店業者である。 登記されていて、建設法上の許可をそこで受けている。専任技術者がいるなど。
議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 5 「平成23年度 伊那市営火葬場 耐震診断業務委託」	
○ 応札者数が3者と少ない。地域要件を上伊那郡内としているが、今回の入札対象業者は何者あるか。 ○ 今回の応札者の市内、市外業者の内訳は。 ○ 応札した2者が最低制限価格を下回っているが、この結果から設計が誤っていることはないのか。 ○ 耐震診断業務の入札案件が多いが、過去の入札結果等を参考にすれば予定価格も推測できるのではないかな。	○ 伊那市内の業者が4者、市外業者が4社の計8者である。 ○ 市内業者が2者、箕輪町の業者が1者であった。 ○ 設計には誤りはない。今回の業務は、火葬棟と待合棟と別の2つの建物の耐震診断業務であったため、積算が難しかったかもしれない。 ○ 耐震診断の積算根拠や単価等の公表は行っていない。また、開示できる設計図面等や現場の条件により、一案件ごと設計条件が異なる。予定価格を推測することは難しいと思われる。

議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 6 「平成22年度 春富・西箕輪・伊那中学校消防設備改修工事実施設計・工事監理業務委託」	
○ 一番低額で応札した業者は、最低制限価格を上回っているにもかかわらず落札者となっていないのはなぜか。 ○ 応札額に2倍近く開きがあるが、一括発注したことが原因か。 ○ 今後も実施設計と工事監理を一括して発注していくのか。それとも分離していくのか。	○ 提出された業務費内訳書に不備があった。一般競争入札実施要綱に基づき無効(失格)となった。 ○ 原因や真意はわからない。 ○ 基本的には、一括発注を行っていく。各担当課へも指導している。
議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 7 「平成23年度 地籍調査事業 西春近2-1区 一筆地調査他業務委託」	
○ 入札価格が各者あまり開きがないが、その理由はなぜか。 ○ 予定価格が推測可能ならば、落札率の92.4%は高い気がする。受注したければ最低制限価格上限の85%付近の応札者があってもいいのではないか。 ○ 地籍調査は以前からやっているが、業者が順番に回っていることはないか。	○ 積算根拠、積算単価ともに公表しているので、予定価格はある程度推測が可能である。 ○ 地籍調査業務は、通常の測量業務の他に、地権者等の立会いや境界立会いなど諸々の業務が含まれるので、業務日数も要し、又特殊業務であるためか比較的落札率は高い傾向にある。 ○ 地籍調査は、調査を始めると単年では終わらずに2～3年はかかる。同じ業者が連続して落札するケースはあまりない。
議事 (1)審議 ウ その他	
○ 新しい最低制限価格の制度は、半年くらい様子を見て評価するということではよいのか。 ○ 11月1日の公告分からとのことだが、実際に入札結果は出ているのか。 ○ どのような結果になるのか興味深い。今後の入札において、改定後と改定前の方法ではどのような変化だったのか、次回資料として提示いただきたい。 ○ 同時期に同じ業者が落札している案件が多く見られるが、業者別の受注状況・実績がわかるか。あれば、参考として提示いただきたい。	○ 最低半年くらいは様子を見たい。落札率が低かったり、くじ引きが多かったり問題があれば見直しを検討したい。 ○ 明日(16日)の開札が改定後初めての開札となる。 ○ 次回資料提示をいたします。 ○ 次回資料提示をいたします。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし